



Vol. 154

2022年4月14日発行
(令和4年)

議会だより

しらたか

3月定例会
山形県白鷹町議会



図書館だいすき

家族で楽しむ大型絵本

- 町民の声を聴き 確実なる実施を 令和4年度主な事業 . . . ② p
- 質疑154問・7時間43分 予算特別委員会 . . . ④ p
- ここが聞きたい 本会議一般質問 2人の議員が町政を問う . . . ⑫ p
- ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議 . . . ⑯ p
- ご意見ありがとうございました 議会だよりアンケート結果 . . . ⑱ p
- 輝く地域の力 白鷹町の未来を彩る「金田 稔さん」 . . . ⑳ p

お手持ちのパソコンやスマートフォンなどで議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

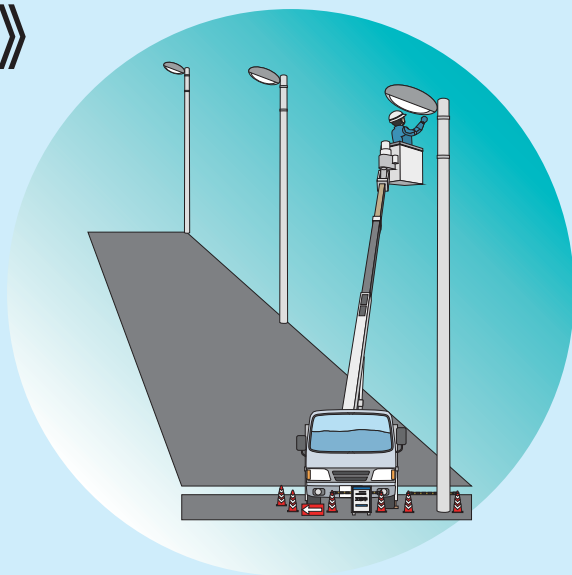


この広報は、議員の自主編集で発行しています。

町民の声を聴き 確実な実施を求む

《地域力》

- ◎ 道路照明灯が LED になります。
1050 万円
- ◎ 要支援者の実情に合わせた個別避難
計画が作られます。 125 万円
- ◎ ゆうがい有蓋防火水槽が2基作られます。
4670 万円



《定住化》

- ◎ デマンドタクシー町外延伸便が
増便されます。 1854 万6千円
- ◎ 若者定住支援住宅などの基本設計
が行われます。 3185 万円
- ◎ がけ地等にある住宅の除去や移転の
費用を補助します。 518 万 5 千円



今後も増設される子育て支援住宅

全議案を全会一致で可決

3月定例会は3月8日から17日まで開かれました。初日の施政方針で佐藤誠七町長は「未来につながる暮らしを大切にし、持続可能で充足感を感じられるまちづくりをめざす」と述べました。町長から提案の令和4年度当初予算を含む議案31件などを審議し、全議案を全会一致で可決しました。



町長施政
方針全文

令和4年度の主な事業

《人づくり》

- ◎ 全年齢の保育料と副食費（おかず代など）
が無料になります。 6660万4千円
- ◎ 医療的ケア児の受入体制が
整います。 475万円
- ◎ 小中学校に防犯カメラを増やし玄関を
オートロックにします。 1150万円



元気いっぱいな白鷹っ子

《産業・経済》

- ◎ ふるさと森林公園の老朽度調査
が行われます。 909万4千円
- ◎ 6次産業化推進拠点施設の基本設計
が行われます。 350万円
- ◎ 林道沼平線を整備するための調査が
行われます。 1624万5千円



再整備が待たれるふるさと森林公園

令和4年度 当初予算

一般会計84億5000万円

総額142億4875万円（前年度比0.3%増）

新年度当初予算額			
会計項目		予算額	
一般会計		84億5000万円	
特別会計	十王財産区	68万円	
	下水道	4億3533万円	
	国民健康保険	14億8173万円	
	農業集落排水	1億7487万円	
	介護保険	17億2588万円	
	後期高齢者医療	1億7974万円	
事業会計	水道	収益的支出	2億9856万円
		資本的支出	1億6317万円
	病院	収益的支出	12億0339万円
		資本的支出	1億3541万円
合計		142億4875万円	

※万円未満は端数調整

一般会計は前年度に比べて
0.96%増加しました



総括質疑 — 施政の方針を問う —

**コロナ感染と人口
減少は進行形
担い手確保**

山田 仁 議員

小口尚司 議員

空き家対策

関 千鶴子 議員

コロナ感染症対策

【問】 今までをどう評価し、今後の対応は。

【町長】 未知の感染症であり、国の情報などを導入しながら対応し、最小限に抑えられた。今後とも町立病院を核に、希望者へのワクチン接種など、町民の安全安心に込めたい。

実効性ある少子化対策

【問】 子育て世代へのさらに積極的な住宅政策が必要ではないか。

【町長】 令和4年度は、保育料を無償化する。定住や人口増加になることを願っている。また、若者向けに家賃設定ができるか、官民双方の課題である。

【問】 生産年齢人口が減少していく中で、本町の労働力と担い手の確保をどのようにしていくのか。

【町長】 町内企業求人に対する効果的な情報発信方法の検討や、就労ニーズに対するマッチングの検証、マルチワークなど多様な働き方の組み合わせの提案を行う。また、正社員化による安定的な雇用環境づくりや本町でより生活しやすい住環境の改善を行いながら、移住を含めて労働力と担い手を確保していきたい。



【問】 特定空き家が減らす対策は。

【町長】 解体助成や課税段階で危険な現状をお知らせしているが回答がない。親戚などを頼りながら取り組んでいくしかない。

【問】 自主防災組織活動を発展させる取り組みは。

【町長】 人口減少で担い手が少なくなる。組織体を壊さないようにすることが必要。組織にある程度責任を持ってもらい、財政的な支援をしていく。

※特定空き家
放置すれば倒壊などのおそれがあるものや、衛生、景観、生活環境などの問題により、放置することが不適切な状態にあるもの。



総括質疑の動画をご覧いただけます。

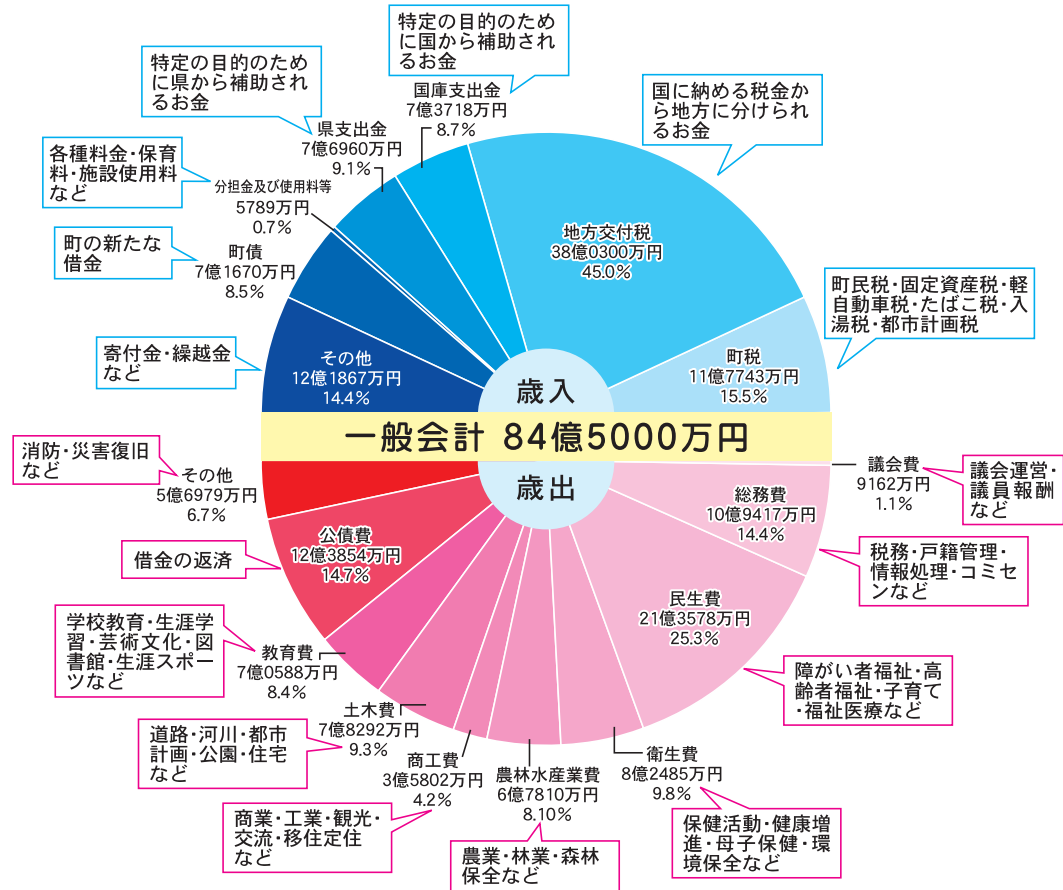
予算特別委員会

質疑154問・7時間43分

予算特別委員会とは

当局から提案された予算が、有効に使われようとしているか審査を行います。一般会計のほか、六つの特別会計と二つの事業会計があります。

3月14日と15日の2日間にわたり、令和4年度当初予算について審査しました。



歳入 (町の収入)

町民税・固定資産税 予算の増額要因
小口委員 町民税、固定資産税の増額要因の詳細は何か。
当局 町民税については、コロナ禍の影響が、決算見込みから、やや回復していると判断した。固定資産税については、家屋の新築増築の新規課税、償却資産の新規取得見込み、中小事業者へのコロナ関連軽減措置が終了したことによる。

町民税・固定資産税 予算の増額要因
小口委員 町民税、固定資産税の増額要因は何か。
当局 過去の実績と国から示された地方財政対策に、当町の個別要因を組み合わせで見込んでいる。特に、地方交付税全体で3.5%の増額が見込まれている。

普通交付税の増額要因
小口委員 普通交付税の増額要因は何か。
当局 過去の実績と国から示された地方財政対策に、当町の個別要因を組み合わせで見込んでいる。特に、地方交付税全体で3.5%の増額が見込まれている。

町税全体の収納率
当局 町税全体の収納率については、令和2年度が93.7%、令和3年度が93.9%、平成30年度が94.2%の状況である。県内平均を若干下回り、29番目の状況にある。副町長を委員長とする収納率向上対策委員会を設置し、関係部署で連絡調整を図りながら取り組んでいる。

歳出 (町の支出)

コンビニでの証明書発行サービス

丸川委員 マイナンバーカードを利用した、コンビニなどでの各種証明書発行サービスを導入する考えはないか。
当局 県内では7市1町で実施している。交付率アップや町民の利便性にもつながるので前向きに検討していきたい。

デマンドタクシー

金田委員 今年度実施した本事業の問題点、改善点をどのような形で、予算に反映しているか。

当局 町内循環バスの経済的優位性よりも、ドア・ツー・ドアで目的地に着けるデマンドタクシーの優位性を重視していることが判明したため、町内の移動ニーズは、現行のデマンドタクシーと町外延伸でカバーできると判断し、デマンドタクシーと町外延伸の利便性を高めていきたい。

しごと創生事業

竹田委員 地域資源の調査には、現在の資源のほか新しい資源発掘も含まれるのか。

当局 各地域の特色ある資源を想定しており、どう付加価値を付けていくのか調査したい。

竹田委員 調査後の取り組みが大事である。

各部署横断的な取り組みになると思うが、どのようなイメージか。

各課、関係者と連携してマルチワークの可能性を調査し、地域のビジネスモデルを作っていくたい。

副町長 複合的に地域課題や資源をとらえ、具体的なネットワークやシステムを作っていくのが今回の取り組み。誰がどうするかも踏まえ、制度化し、町の次の時代が見える形にしたい。

民生費

障がい児ネットワーク

横山委員 事業を始める経緯は何か。

当局 障がいや発達の気になるお子さんの保護者同士が気軽に交流し、不安を和らげ、孤

独にならないような取り組みが必要。つながりが持てる場所へのご意見が寄せられたこともあり事業を始める。

衛生費

受診率向上の方策

笹原委員 無料クーポン券が配られる子宮頸がん検診の受診率はどうか。

当局 子宮頸がん検診が10%、乳がん検診が25%となる見込みである。

笹原委員 受診率向上の方策はあるか。
当局 クーポン配布時に検診内容や検診の必

要性などをお知らせする。未受診者には再勧奨する。

不育治療費助成

横山委員 不育治療費を補助するに至った経緯は何か。

当局 妊娠しても流産や死産を繰り返す状態を不育症と言い、子どもを持ちたいという方の気持ちに寄り添うため不育治療の助成を始める。

横山委員 不育症の検査費を国・県が助成している。町民の皆様にご伝えていただきたい。
当局 不育症への町の助成と併せて広報したい。

総務費

預貯金照会のデジタル化

丸川委員 税滞納者の財産整理に導入する預貯金照会のデジタル化の内容は何か。

当局 滞納者の預貯金の調査において、預貯金照会システムを使い、滞納者のデータを送信すると瞬時に情報が返ってくるもの。事務の効率化、収納率の向上に結びつけたい。



置賜成年後見センター

竹田委員 米沢市社会福祉協議会が委託を受けたが、白鷹町まできめ細やかな支援をしていただけるのか。

当局 2カ月に1回出張相談を行うほか、適宜対応していただく。リモート対応も検討している。

副町長 サービスの実態を踏まえ、サービスの低下にならないよう、意見を申し上げていく。

保育料無償を町外へ発信

丸川委員 保育料等無償化事業を移住者の増加につなげたいが、町外への周知はどうするか。

当局 移住関連部署と連携して、移住向けの町の紹介ページや、県のホームページ、子育て関連の機関紙などへの掲載を検討していきたい。

丸川委員 ゼロ歳児の年度途中での入所希望が増えることも考えられるが、保育士は確保できるか。

当局 ゼロ歳児3人に保育士1人という観点から苦慮する部分はあるが、入所先の第二希望までいただいているので、保育施設と情報を共有しながら体制の確保を行っていきたい。



労働費

正社員化促進事業の見込み

竹田委員 今年度の状況と来年度の見込みはどうか。

当局 現在まで5人の

報告がある。令和4年度は11名を想定している。

竹田委員 今後の企業への働きかけをどうするか。

当局 町報やホームページへ掲載するほか、企業調査の際などに、各事業所に周知していく。

農林水産業費

6次産業化施設

金田委員 施設整備後の運営をどのように考えているか。

当局 民間事業者による指定管理を視野に調整を進めていく。

金田委員 6次産業化と言ってもさまざまなかやり方が想定されるが、本施設の目指すべき方向性をどのように考えているか。

当局 新しいことを始めた方に対し、事業

化の後押しができる施設にしていきたい。さらに、この施設を中心に地域やその周辺施設と互いに連携し、一体的な推進を図ってきたい。

農業のセーフティネット

金田委員 収入保険だけでなく、類似する制度に対する支援は考えていないのか。

当局 これまでも、経営安定対策、野菜等銘柄産地育成価格安定対策等、状況に合わせて支援をしてきた経過がある。

タブレット端末の活用

金田委員 農業委員会新たにタブレット端末の導入を計画しているが、どのように活用するののか。

当局 農地の現地確認の際、正確な位置がわかり、確認作業をスムーズに行うことができる。

る。また、そのタブレットに農地の状況を直接入力すると、システムに自動で連動して入力される機能もあり、農地の管理、把握がしやすくなる効果がある。

林道の改修

菅原委員 林道全体計画策定はどのあたりまでを考えているか。また、沼平沼の改修は考えているのか。

当局 既存路線の改修並びに新設に関わる路線全体計画を作成するための調査を実施する。沼平沼については、廃止ため池であり、改修は予定していない。

菅原委員 三ツ滝林道の今後の整備計画はどうか。

町長 今後、県がどうか確認し、町としてできるものややっていきたい。地域の方や地権者のご協力をお願いしたい。

家庭菜園のススメ

横山委員 活動を拝見したが、初めて野菜作りに取り組むご家族が楽しそうにしていた。令和4年度の方針はどうか。

当局 家庭菜園体験会を2回実施して52名に参加していただき、今後も家庭菜園に取り組みたいというご回答を頂戴した。

令和4年度は3回実施し、参加者の増加を期待したい。



初めての家庭菜園

有害鳥獣焼却施設の整備

笹原委員 町長は駆除した個体の焼却施設を作りたいと発言したが、具体案はあるのか。また、設置場所はどこか。
町長 今後置賜3市5町で議論し、設置の方向で準備をしていきたい。わが町も候補地として検討いただきたい。

農工商観の連携

る。業種を絞らず、引き合いがあるのを待ちたい。

金田委員 白鷹町産業振興戦略会議構成団体の負担金の3万円は、どのように活用されるのか、会議はどのような内容か。
当局 農工商観連携による6次産業化を推進するものである。具体的には視察研修、賀詞交歓会、戦略会議幹事会の開催による情報交換である。

商工費

企業誘致へ
笹原委員 企業立地調査は、どのような産業を想定しているのか。
当局 製造業等に限り、ほかの業種も含めて検討する。
笹原委員 調査が終わり場所の選定後どういう形で企業誘致するか。
町長 工業団地を準備すると問い合わせがあ

歳出（支出）

うだが、地域の理解は得られているのか。

当局 地元の深山区などと意見交換したが、のどか村の管理を受けていただけの方を探せず、令和4年度は町が管理を行う。ご理解をいただけるよう説明させていきたい。

横山委員 宿泊やそばの営業は継続するのか。
当局 基本的には旅館、飲食や宿泊業は中止となる。

町長 残念でならない。コロナと高齢化は避けて通れなかった。知恵を絞り、新たな取り組みができるか考えていきたい。

横山委員 古民家での飲食店運営は、移住定住において魅力となる可能性がある。広い視野で取り組みを進めてはどうか。

当局 さまざまな角度から活用を考えたいが、管理運営の部分は慎重に進めたい。

ふるさと納税の新たな返礼品

丸川委員 ふるさと応援事業における新たな返礼品の掘り起こしの具体策はあるか。
当局 各種フルーツやその定期便など、農産物の掘り起こしを行っている。また、工芸品や宿泊プランなども検討している。



土木費

子育て支援住宅と再生可能エネルギー
横山委員 町はゼロカーボンシティ宣言を行った。再生可能エネル

ギーの活用など省エネルギーに向けた取り組みは考えているか。

当局 これからの住宅建設にあたり、省エネルギーハウスなどの検討が重要と考えている。子育て支援住宅と若者定住促進住宅の整備では、高断熱・高気密による快適な空間づくり、効率的な設備によるエネルギー消費の抑制、太陽光などによるエネルギーの創出について、基本設計を行う際に検討したい。

横山委員 エリアで取り組む省エネ住宅についての考え方は。
当局 多様な再生可能エネルギーがあるなか、天候などに影響されにくいバイオマス発電が良いかと考えているが、費用対効果の面も含め、導入すべきか検討したい。

副町長 エネルギーの共有は、今後の住宅整備の中では大切な視点

である。今後のエネルギー政策、スマートシティ、コンパクト化の中で施策を検討し、対応を進めている。

民業圧迫を懸念

笹原委員 町内民間アパートの入居率が高くない中、町で家賃の安い住宅を作れば民業の圧迫にならないか。
町長 民業を圧迫しないのが大前提。そのうえで、子育ての時期に限った住宅の提供をしてきた。

笹原委員 民間アパート改修費用の助成は考えていないか。
町長 住宅政策として研究・検討をしていく。



道路照明のLED化

竹田委員 令和4年度の設置はどこで、何基か。何年計画か。

当局 35基を予定している。蚕桑地区から順次実施し、4年間での完了を見込んでいます。

西廻り幹線道路

金田委員 令和4年度は、町として整備促進に向けた取り組みを具体的にどう進めるのか。

当局 引き続き要望活動に取り組み、総会などの会議も可能な限り開催し、事業の推進を図りたい。また、県では、概略設計のための地形図作成費を予算要求しているの、県担当者と随時連絡を取りながら進めていきたい。
金田委員 その活動経過及び結果をどのような形で関係者に周知していくのか。
当局 県と連絡を取り

ながら、必要に応じて関係者の皆様に説明させていただきたい。

消防費

個別避難計画

金田委員 自主防災組織等との連携をどう考えていくか。

当局 自主防災組織の皆様は主体的に取り組んでいただいて、より具体的で実効性のある計画を作っていたら、円滑な避難行動につなげていきたい。

消防団活動

小口委員 団員報酬を県内自治体に先駆けて増額し、団員へ直接支払にしたが、団員の反応はどうか。

当局 特段、情報としてはないが、部によっては、会費などを徴収しながら運営費に充て

ていることもあるとお聞きしている。

小口委員 令和3年度の団員数と令和4年度の予定数は何人か。

当局 令和3年度は632名、令和4年度は617名の予定で、17名の減である。



貯水槽の複数整備

笹原委員 防火水槽新設予算が大幅に増加した。この予算で2基となった理由はなぜか。

当局 既存の無蓋貯水槽の解体費用も見込んだの予算となったためである。

笹原委員 地域からの要望も多い。今後重複箇所も改修となるか。

当局 今後とも2か所を想定して計画していく。

教育費

荒砥高校存続

金田委員 荒砥高校の存続に向けて、拡充してまで支援していくことは理解できる。同じ町民である荒砥高校以外の生徒に対する支援とのバランスはどのように考えているか。

町長 ほかの高校を選ばれる家庭にも同じく支援することは、荒砥高校を選んでいただけるといふ行為にはならないと判断した。そのため、荒砥高校を選ん

でくださる子どもたちに支援をしていくことしか対応できないというところで取り組んでいる。バランスの問題もあると思うが、ご理解を賜りたい。

学校給食

山田委員 学校給食の民間委託をどう総括しているか。

当局 概ね順調に安全で安心なおいしい給食の提供ができています。特に、地産地消割合、栄養価充足率が高い水準を保っている。

山田委員 施設建設から40年経過している。米飯給食地産地消の取り組みと併せてどのように進めていくのか。

当局 近い将来、施設全体の在り方と温かいご飯の提供について、セットで検討することが必要になってくると思う。

中学校整備を検討

笹原委員 中学校は統合されて新しいイメージがある。施設整備の検討内容はどのようなものか。

当局 昭和49年に建ち老朽化が進む。体育館の床、水はけの悪いグラウンドなど施設全体の調査のほか、生徒数の減少など将来を見据えて検討する。



よりよい教育環境を求めて

図書館の民営化

【横山委員】第6次行財政改革大綱では図書館を民間委託することになっている。現在どのような状態か。スケジュールはどうか。

【当局】管理費を民営化のメリットに結びつけることは難しい。今年度から図書館長を常勤としてマネジメントの充実強化が図られているほか、講演会などさまざまな事業が図書館主体で展開されており、コロナ禍ながら図書館の利用者数や貸し出し数など伸びている状況にある。

利用者アンケートでも高い満足度をいただいております。効率的な運営に加え白鷹町立図書館らしさを検討しながら、運営方法や移行時期も含め検討している。

各スポーツ大会の推進

【竹田委員】コロナ禍においても、各種大会を実施できるような検討してほしい。

【当局】令和3年度はオンラインでの若鮎マラソンも中止した。ランナーへは参加料返金のほか、町の特産品を送らせていただき好評であったが、実施に向けて検討したい。町駅伝は各地区で考え方も違うようなので、各地区に出向いて意見を聞き、検討したい。



特別会計

下水道

地方公営企業法適用に向けての進捗状況

【丸川委員】令和6年度からの地方公営企業法適用に向けての進捗状況はどうなっているか。

【当局】減価償却費の算定に必要な下水道施設などの固定資産の調査及び評価を進めており、工事関連情報簿の整理取得価格の算定、固定資産管理の作成を行っている。

【丸川委員】令和4年度の取り組みはどのような内容か。

に予定しているか。

【当局】条例規則などの制定・改正・廃止、関係官庁への届け出の準備、そして庁内関係部署との調整などを行う。

農業集落排水

補助拡充の背景

【丸川委員】町設置型合併処理浄化槽へ転換する際、くみ取り便槽においての宅内配管費、撤去費用にも補助するに至った背景は何か。

【当局】令和元年に浄化槽法が改正され、単独処理浄化槽からの転換に助成制度が創設されたが、くみ取り便槽からの転換は対象外とされてきた。置賜開発事業要望において事業推進を要望してきた経緯があり、令和4年度から拡充となる。

【丸川委員】補助はどのような内容か。

【当局】いづれからの転換においても宅内配管費、撤去費に補助するもの。宅内配管費については最大30万円、撤去費については最大9万円を補助する。



介護保険

男性の参加を促す

【笹原委員】男性限定の健康教室を実施しているが、参加者数の推移はどうか。また、参加を促す方策はあるか。

【当局】令和2年度は7名、3年度は10名に参加していた。広報やホームページによる周知のほか、教室の参加者のご主人や友人へのピーアールもお願いしていきたい。

デイサービスが統合する影響はないか

【竹田委員】白光園デイサービスとはびびりデイサービスが10月に統合になるが、町民への影響はないか。

【当局】現在二つの事業所を合わせて65名の定員だが、利用者は両事業所合わせて1日平均45名程度であり、問題なく対応できると考えている。



令和3年度
補正
予算

鷹山地区拠点施設整備事業に 3億8000万円

一般会計補正予算の主なもの

鷹山地区拠点施設整備事業	3億8000万円
病院費	3000万円
感染症の影響による経営状況を勘案した繰出金の増額	
保育士等処遇改善臨時特例事業	1153万円
保育士などの処遇改善	
山形鉄道路線維持対策事業費	480万円
フラワー長井線の維持管理費	
豪雪対策農業支援事業	100万円
豪雪及び低温による雪害防止対策	
学校給食緊急支援事業	380万円
休校時の給食材料支援	
町道安全対策事業	3100万円
など	総額6億500万円

◎ 財源は、地方交付税、国・県支出金、地方債、諸収入、繰越金など。

※万円未満は端数調整



賛成討論

地球温暖化対策は、地域住民と一丸となった取組を求める。

※反対討論はありませんでした。

鳥獣被害対策では、成功事例を共有し、

だが町長の政治的・行政的手腕にご期待申上げる。

6次産業化推進拠点施設の整備は、雇用確保などにつながり期待する。

厳しい現実の連続

副食費が無償化、医療的ケア児の受入体制整備は、子育て世帯への大きな支援となる。

若者定住施策では、子育て支援や定住促進住宅の建設に期待する。

令和4年度予算は、アフターコロナを見据えた予算になっている。

町民が自分ごととして取り組める事業展開を期待する。

アフターコロナを見据えて

笹原 俊一 議員

賛成討論

令和4年度一般会計予算に対する



医療体制を維持するための方策は

持続可能な町内の医療体制について

町長 経営計画を早急に策定する



録画を配信



竹田雅彦議員

町立病院の経営改善

問 現在までの状況は。

町長 令和2年度決算は、純損失が7千万円を超える非常に厳しいものとなった。令和3年度も昨年と比べ入院で約19%減、外来で約8%減であり、感染対策の人員費や材料費も増加し、今後も厳しい状況。

問 今後の経営改善の方策は。

町長 経営計画を早急に策定し、「第2期健康と福祉の里構想」を着実に進めていく。

問 計画の策定期間は。

病院事務局長

令和4年度中には策定に向けて動きたい。

役割と連携

問 地域包括ケアシステムの充実のための町立病院と開業医の方々の役割は。

病院事務局長

専任の看護師を配置し、急性期病院からの受入調整や介護福祉機関との調整などを行っている。地域包括支援センターとも連携し、開業医の方々を含めた町の在宅支援室的役割を担っている。

問

町立病院の置賜地区での役割や、公立置賜総合病院との連携は。

病院事務局長

医療連携推進協議会などで連携を強化している。また患者の同意を得て治療の内容など、ネットワークを介し、互いに電子カルテで情報を閲覧できるシステムを運用している。当院は後方支援病院として回復期医療を担っていくことになる。

医師・看護師の確保

問 医師や看護師の確保対策は。

病院事務局長

常勤医師が4名のほか、平日の一部や土日などは山形大学から派遣していた。看護師も充足している。今後、今後も町に根ざした医師確保のため、管理者を中

心に対応していきたい。

問 コロナ禍での医療関係者のメンタルケアは。

病院事務局長

行動制限は強制していないが、各自厳しくとらえ行動しており、ストレスを感じている。各部門の管理者が個別面談を行ってケアをしている。

問 医師の方々は多忙だと感じる。働き方改革は。

病院事務局長

技師や事務方が代行する業務移譲や、電子カルテシステムを改良し、負担軽減につなげたい。

患者の声は

問 患者の声をどう反映し、改善しているか。

病院事務局長

患者サービス向上委



更なる安心の拠点へ

医療体制の確保を

問 人口減少が進み病院再編を検討する時代が来るかもしれないが、町立病院と開業医の方々の連携は町の宝。持続可能な医療体制の確保を。

町長 町立病院はどんなことがあっても守り続ける姿勢を持ち、取り組んでいきたい。

環境マイレージ導入を

町長 専門的な組織で検討するべき



録画を配信

地球温暖化対策を身近なものに 温暖化対策

問 今後どのような施策を展開する

町長 町民が自ら対策に取り組めるよう、セミナーの開催や「緑のカーテン」を実施する。



環境マイレージ

問 対策を町民に身近なものとする

ため環境マイレージ導入を提案する。

町民課長 取り組みにつかて詳しく検討していきたい。

町長 専門的な組織で検討するべきと考える。

温暖化の学習機会

問 児童生徒が温暖化について学ぶ機会を。

町民課長 令和4年度から森林学習、木育を通し地球環境やゼロカーボンの考え方を正しく理解できるように取り組む。

ヤングケアラーの 掌握と支援

実態の掌握と対応

問 ※ヤングケアラーの掌握と対応は。

教育長 本町でも確認されている。教職員が声掛けしながら見守っている。

教職員の研修

問 早期発見と適切な支援をするため、先生方の取り組みも必要。研修などを実施してはどうか。

教育長 ヤングケアラー問題は避けられない。前向きに検討する。



鳥獣被害対策

成果と課題

問 杉沢・高岡での電気柵設置の成果と課題は。

農林課長 対象地域全域を電気柵で囲い、被害の軽減につながる効果が見られた。

町長 両地区ともかなりの被害があり取り組んだが、除草作業などの負担が大きく、担い手や後継者がそろわなければできない。

成果の波及

問 ほかの地域にも波及させる取り組みは。

農林課長 区長会、中山間地域の話し合い、出前講座などの機会に普及していく。

一体の取り組み

問 ※中山間直接支払いを開いているが、猟友会と一体となった取り組みを考えているか。

農林課長 中山間組織の資金を活用した免許取得も行われているが、実際に狩猟を行うには、冬場の狩猟期を除き、猟友会への加入が必要である。免許を取得した人に猟友会への加入を呼びかけていく。

※ヤングケアラー 家族の介護や世話などを日常的に行っている18歳未満の子ども。

※中山間直接支払い 農業生産条件の不利益な中山間地域等において、集落等を単位に、農用地を維持・管理していくための取り決め（協定）を締結し、それに従って農業生産活動等を行う場合に、面積に応じて一定額を交付する仕組み。

笹原俊一 議員



総務厚生常任委員会 3月10日

理想とする職員像を目指して

人材育成基本方針について説明を受けた。

町当局の説明

【概要】

本町職員の人材育成は、平成15年の「人材育成基本方針」策定から3年ごとに見直しを行い、組織全体で町政を支えるプロ職員を育てる取り組みを行ってきた。

- ① 町の方針を理解し、目標達成に向け結束してまい進する組織
- ② 町の特性と町民ニーズを正しく把握し政策が展開できる組織
- ③ 幅広い視野で効率的

【目指すべき組織像】

な行政経営ができる組織

- ④ 透明性を確保し、町民との相互理解を深め共創できる組織
- ⑤ 職員の人材育成を重視した教育力の高い組織

質疑

アンケート回答率

【委員】 職員のアナキト調査で全員が回答できなかった背景は何か

【当局】 期間を限定したこと、育休されていた方がいたことなどによるもの。育休明けに聞き取りを行いたい。

地域課題の提起

【委員】 地域課題について自主的に問題提起する職員はいるか。

【当局】 地域活動や消防

団に参加しての部分的な提案がある。

民間企業との人事交流

【委員】 民間企業との人事交流は今まであるか

【当局】 これまではないが、新たな取り組みを目指すため、可能性を探っていききたい。

その他の説明

- 白鷹町地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）（素案）
- 第2期健康と福祉の里構想
- 置賜成年後見センターの設置
- 白鷹町生涯学習振興計画（案）

産業建設常任委員会 3月11日

施設整備の方向性が出る

6次産業化推進拠点施設の整備について説明を受けた。

【状況】

食と農村交流施設（どりいむ農園直売所）周辺への6次産業化推進拠点施設の整備に向け、調査検討業務を実施し、検討委員会や地区関係者などと意見交換を行い、想定される整備内容や配置場所などの検討を進めている。

【方向性】

「農」を起点とした取組と連携し、「付加価値」を高めながら持続可能な地域社会を形成することが重要。具体的な配置場所はB案（下図参照）を軸に進める。

質疑

経費が増加

【委員】 9月の説明から

事業費が大幅に増加しているのはなぜか。

【当局】 資材が高騰したためである。

【委員】 運営支援はどう検討したか。

【当局】 販路拡大や新商品開発のアドバイス、人材確保のマッチングなどの機能を併せ持った支援が必要である。財政面や物心両面からの支援を考えている。

調査委託業務

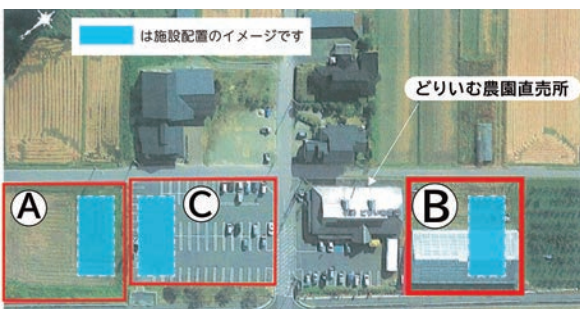
【委員】 調査委託業務はどの程度の調査を委託したのか。

【当局】 食と農村交流施設周辺を前提に、一体としていくにはどれがいいか検討し、各案を調査いただいた。建物にも工房の内容や設計についてノウハウをい

ただいた。

【委員】 どりいむ農園直売所との連携が大事。経営を含めコンサルタンの活用は考えていないか。

【当局】 県6次産業化サポーターセンターと調整しながら進めたいと考えている。



総合的な森林づくりにつながるか

白鷹町森林とつながる暮らしビジョン及び白鷹町森林整備計画の策定について説明を受けた。

【ビジョンの概要】

森林生産分野から木材利用分野、食や文化の継承や人材育成、教育といった総合的な分野までを包括した、森林・木材に関わる総合的な計画。

【森林整備計画】

ビジョンの川上部分（森林生産分野）を補完する計画。令和4年4月から10力年の計画

◆主な変更点

- ・人工造林の標準植栽本数の変更
- ・「特に効率的に施業が可能な森林区域」の新設
- ・制限林の区域設定の見直し



質疑

緑の少年団

委員 緑の少年団は東根小学校1校だけ。広げる考えはないか。

当局 他校でも、木工など木に親しむ授業を実施しているが、各学校や教育委員会とも調整したい。

町長 指導者が結構大変である。時間をいただきたい。

境界明確化の目標

委員 境界明確化の数値目標は。

当局 現在は鷹山地区で約50ヘクタールを目標に実施している。航空レーザー測量も計画している。

区域設定の基準

委員 どういう基準で生産林の区域が選ばれたのか。



森林に親しむ緑の少年団

当局 道路条件や樹種の状況で検討し、計画している。

ブランド化

委員 杉材もある程度ブランド化しないと魅力が出てこない。川下（木材利用分野）の経営をどう考えるか。

町長 ブランド化は大切だが、短期間でできるものではない。木材大手の企業と手を組み、乾燥、加工、販売する会社ができる予定であり、どう付加価値を高めていくかが大切になってくる。

民間の力をどう活用できるか

サウンディング型市場調査とふるさと森林公園試掘調査の状況について説明を受けた。

【調査後の考察】

- ① 観光施設は、民間事業者へ指定管理移行の可能性はある。
- ② 現状では市場性は低いですが、民間の力を活用し魅力や集客力を高めることは可能。
- ③ 再整備は最低限の投資でよく、コンテンツやサービスにも投資する必要がある。
- ④ インパクトのあるコンテンツづくりや強化が必要。
- ⑤ 投資回収を考えれば、5年〜10年の指定管理期間が必要。

【今後の方向性】

- ① 民間事業者への公募による指定管理の移行を図る。
- ② 各団体の存在意義、各施設の機能に留意

し、将来を見据え対応を決定する。

【試掘調査の結果】

水温14・9度、成分も基準値以下であり温泉ではなかった。今後は再整備と併せて検討

質疑

今後のスケジュール

委員 どのようなスケジュールで進むのか。運営事業者はどう関わるのか。

当局 公募要件の設定も重要である。令和4年度中に公募し、新たな指定管理者と協議したい。

アルカディア財団の役割

委員 指定管理者の移行後、アルカディア財団の役割はどうなるのか。

さまざまな施設管理もしていただいております、今後どうあるべきか、財団と話し合いたい。

町民アンケート

委員 町民アンケートにより、なぜ利用しないのかの検討も必要ではないか。

町長 かつて行った。いろんな意見があつていい。今回はサウンディング調査という入口に入った。

町民の理解

委員 アルカディア財団の中身や町との関係について、町民に理解を得られるように進めるべきである。

町長 議会にも相談し、一緒に取り組んでいきたい。



3月9日、令和4年白鷹町議会3月定例会本会議において、ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議する決議案が提出され、全会一致で議決しました。

ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議

2月24日、ロシアは、世界中の平和を望む切なる願いに反し、ウクライナへの侵略を開始した。さらに現在は、核の力を背景に国際社会の安定を一層脅かしている。

ロシア軍の侵略により多くの人々が住み慣れた地を追われ、避難を余儀なくされている。武力攻撃は居住地にも及び、幼い命が奪われるなど罪のない民間人にも被害が広がっている。

このようなウクライナの主権と領土を侵害する行為は、明らかに国際法、国連憲章に違反している。

また、今般のロシアの行動は、欧州にとどまらず、海を挟んで対面する日本はもとより、アジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがしかねないもので、断じて看過できない。

よって、白鷹町議会は、ロシアのウクライナへの侵略に対し断固抗議するとともに、即時無条件でのロシア軍の完全撤退を強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月9日

白鷹町議会

条例

- 押印等の見直しに伴う条例の制定
行政手続きにおいて、押印を廃止するなどするため、関係条例を整理するもの。
- 行政不服審査法施行条例の一部改正
行政不服審査に係る事務を山形県へ委託し、組織及び運営に関する規定を削除するもの。
- 県営土地改良事業分担金徴収条例の廃止
萩野地区の耕作放棄地解消に係る事業の終了に伴い、条例を廃止するもの。
- 公有林野官行造林条例の廃止
国と蚕桑財産区、畔藤財産区との官行造林契約満了に伴い、条例を廃止するもの。

ほか 2 件

契約等

- 普通河川地獄沢河川災害復旧工事請負契約の一部変更
(設計の一部を変更して実施)
変更前 8338万3300円
変更後 8529万9500円
- 置賜広域行政事務組合同規約の一部変更
令和7年度供用開始予定である、し尿受入施設の整備と事務移管に関する規定の改定。

ほか 1 件

人事

- 白鷹町副町長
白鷹町大字十王2425番地3
田宮 修 氏
 - 白鷹町教育委員会教育長
白鷹町大字畔藤2022番地の5
衣袋 慶三 氏
- 前任者の任期満了に伴い、任命するもの。

第1回臨時会 1月20日

- ◎令和3年度白鷹町一般会計補正予算(第7号)の専決処分の承認について
除排雪経費が当初予算を超える見込みとなったため、専決処分を行ったもの。

ほか 1 件

図書館といえれば静かな雰囲気を想像しますが、町立図書館は子どもたちが遊べる場所でもありません。図書館にはぬいぐるみがあり、ロフトもあって、撮影に協力してくださった子どもさんはニコニコ楽しそうにしています。

お母さんからは、コロナ禍で子どもを連れて行ける場所が減るなか、町立図書館を開けてくださってありがたかった、とお聞きしました。

館長が常勤になって1年ですが、町民のみならず喜ばれる施設になっていると感じます。



表紙

ご意見ありがとうございました。 = 議会だよりアンケートの結果 =

皆様からいただいた貴重なご意見やご感想を参考に、今後も議会を身近に感じていただける紙面づくりに努めてまいります。

- ◆回答数：30
- ◆性別：男12・女13（無回答5）
- ◆年齢：10代～30代まで…0 40代…1 50代…3 60代…6
70代…9 80代以上…11

質 問

*** 毎号見ていただいていますか**

- 1 見ている……………25
- 2 時々見ている……………4
- 3 見ていない……………0

*** 見やすい・読みやすいと思う紙面は**
(複数回答)

- 1 写真や色使いが良い……………17
- 2 見出しで内容がわかる……………11
- 3 文章がわかりやすい……………7
- 4 議会のことわかる……………12
- 5 その他……………0

*** 見にくい・読みにくいと思う紙面は**
(複数回答)

- 1 言葉が専門的……………10
 - 2 色が多く目が疲れる……………3
 - 3 文章が長い、わかりづらい……………8
 - 4 内容が面白くない……………3
 - 5 その他……………2
- ※1 高齢者には横文字がわかりにくい
※2 文字はもう少し大きい方が良い

ご意見から

・全て掲載できませんがご了承願います

- * 議員の写真があると名前と顔がわかって良いが、質問風景写真の占める面積が広いのは残念。
- * 毎回全て読ませていただいている。議員の皆様の町のことを思う心を感じます。
- * 紙質が良く、写真入りも多く、必要でないところに経費を掛け過ぎている。
- * 我が町の目指す方向性、議員の考え、価値観、検討事項をもっと書くべき。
- * 色使い、字の大きさ、100%良い。気を使っている編集がよく感じられる。



第27回（令和3年）山形県町村議会広報コンクール
2年連続入選しました

【審査委員の講評の一部を掲載します】

- ・ 質疑の部分は、要点がまとめられており理解しやすい。
- ・ コロナ対策の補正予算について、ポイントが大きく見やすい記載となっており、町民にもわかりやすい。
- ・ 委員会レポートは、見出し、背景説明、関連写真、策定の視点など、読者が理解しやすい丁寧で的確な記述です。特に見出しが具体的で、的確、訴求力がある。
- ・ 重要事業要望は好企画。要望理由が明確になっており、地域住民の共感・納得感が得られ良く整理されている。



オンライン視察研修（議会広報特別委員会）2月10日

コロナ禍により県外での視察などが難しいことから、オンラインにより広報誌づくりの研修を行いました。初めての取り組みです。

研修先は埼玉県よりいまち寄居町議会。全国町村議会議長会広報コンクールの最優秀賞（第1位）を平成29年度から5年連続で受賞されています。



当日は議会広報誌の編集方針などたくさんの質問に答えさせていただきました。共感できることも多く、実りある研修となりました。

寄居町議会では町民インタビューなど広聴にも力を入れているほか、印刷委託先と共に紙面づくりを行っています。

	人口	創刊	発行(1回)	費用(年間)	規格	内容
寄居町	3万2千人	平成9年	13,000部	約430万円	基本2色刷	広報・広聴
白鷹町	1万3千人	昭和59年	5,000部	約80万円	全頁カラー刷	広報

令和3年度中に計画された研修

- ・議員 管外研修 中止
- ・議会運営委員会 管外研修 中止

※新型コロナウイルス感染症の拡大により中止しました。



自治功労者表彰

令和4年2月16日、置賜地方町村議会議長会定期総会において自治功労者表彰が行われました。白鷹町議会からは2名が表彰されました。



議員在職10年以上
山田 仁 議員

白鷹町発展のため、皆様と共に歩んでまいります。



議員在職10年以上
小口 尚司 議員

これからも白鷹町発展のために、微力ながら尽力してまいります。

地元で根差した音楽を大切にしていきたい



金田 ^{みのる} 稔 さん (東根地区)

輝く地域の力

白鷹の未来を彩る

… 歌に秘めた力を伝えるために …

自ら作った歌で音楽活動を続けている金田稔さんにお話を伺いました。

始めたきっかけは

中学3年生の頃、ラジオから流れてくる吉田拓郎や井上陽水の歌を聴きながら音楽を楽しんでいました。あるとき、南陽市を代表する音楽家、須貝智郎さんともおのコンサートを観て感
激し、そこで自分が感じて歌つても良いんだということに気づかされ、自分でもやってみようと思つたことがきっかけです。その後ギター

をそろえ、須貝さんに師事しながら歌作りをさらに進めるようになりました。

楽曲について

発表しているのは20曲ほどですが、完成しなかつたものも含めると100曲を超えていると思います。息子が東根小学校に在学しているときに作った「宝山」という歌は、今でも歌い継がれているようにうれしく思います。

活動は

婦人会、老人クラブ、小学校、地域のお祭りなどから依頼をいただき、歌わせていただくことが多いです。また、東日本大震災の復興支援コンサートが全国で開かれる中では、白鷹町の担当として2019年まで開催し、募金の寄付などをさせていただきましたが、鮎貝地区で行われている「あゆかいご当地ソングプロジェクト

ト」に集まつた歌詞の幾つかに、曲を付けています。

家族に感謝

私は三世代8人家族です。家でのギター練習はどうしても大きな音が出てしましますが、家族は理解してくれています。家族に支えられての音楽活動だと感謝しています。

今後は

昔は須貝さんとの関係でラジオ出演や、著名な芸能界の方との交流もあり、ちやほやしてもらつたこともありましたが、今は大きくなろうといった気持ちはありません。そして、「宝山」が20年を超えても歌い継がれていることに感謝し、地元で根差した音楽を大切にしていきたいと思ひます。要望をいただければどこにでも歌いに行きますので、よろしくお願ひいたします。



議会へひとこと

この町は子育てへの支援が充実していて、コミュニティセンター活動も活発であると感じています。それらを支えているのは、町当局はもちろん、地域の皆さま、議会だと思ひます。これからもさまざまな提言をお願ひします。

取材を終えて

自分の作った歌が地域で歌い継がれていることは、このうえない喜びだと思ひます。そして、歌には人を引きつける大きな力があると改めて感じました。(丸川)

編集後記



3月定例会では令和4年度の当初予算が可決されました。

その中には、若者の活動を支援する取り組みがありますし、新たに生活を支援する制度も始まります。国や県による支援プログラムもあります。

新成人の皆様にも積極的に活用いただき、白鷹町で生き生きと活躍されることを期待したいと思います。

成年年齢が4月から18歳に引き下げられました。

織田信長の家督相続は一説によれば18歳だったそうですから、次の時代を担う若い感性や発想力に期待したいものです。(横山)

広報委員

- 委員長 菅原 俊一
- 副委員長・編集長 金田 悟
- 委員 丸川 雅春
- 委員 竹田 雅彦
- 委員 横山 和浩
- 印刷 (有)梅津印刷



お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。